



学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校

バイオメタン班

静岡県富士宮市星山1068

バイオメタンを活用した環の文化



Action

本校では、3年前から再生可能エネルギーのバイオメタンに関する研究を開始しました。バイオメタンとは、生ゴミなどの有機性廃棄物から微生物のはたらきで生成できる可燃性のガスで、再生可能エネルギーとして利用できます。また、バイオメタン生成後の残渣は消化液と呼ばれ、作物栽培の際の液体肥料として利用することができます。この嫌気発酵処理は、生成したガスと残渣の両方を活用できるため、無駄のないシステムとなります。本校では小規模のバイオメタン施設を開発し、地域に分散して配置するシステムの普及の検討を行っています。地域内の狭い範囲の資源循環を可能にすることで、広い地域全体の資源循環も可能になると考えています。最終的には、地域の人々が主体的に運転管理を行うバイオメタン施設を利用した持続可能な資源循環型の社会の構築を実現したいと考えています。これにより、持続可能な開発目標（SDGs）の多くの項目の達成に貢献できると考えています。